

イジメの代償は母親の
カラダで。



トビメの片賞お母様の
セクハラ。





俺の視界に
入んなってんだろ。

ひでえw
視界に入らずどうやって
おつかいすんだおw



ギヤハハw



ハイいめん…。

さっさと買ってきたパン
置いて消えろキモヲタ。

好きなものをばらばらに…。
キムの罪は全部…。



いめんなんご...
いめんなんご...
いめんなんご...

ウチの子が...
いめんなんご...
いめんなんご...

今日は、パンを買って
来いって言われて...

渡しただけなのに
殴られたんだ。

いめんなんご...
いめんなんご...
いめんなんご...



あー

いめんなんご...
いめんなんご...
いめんなんご...



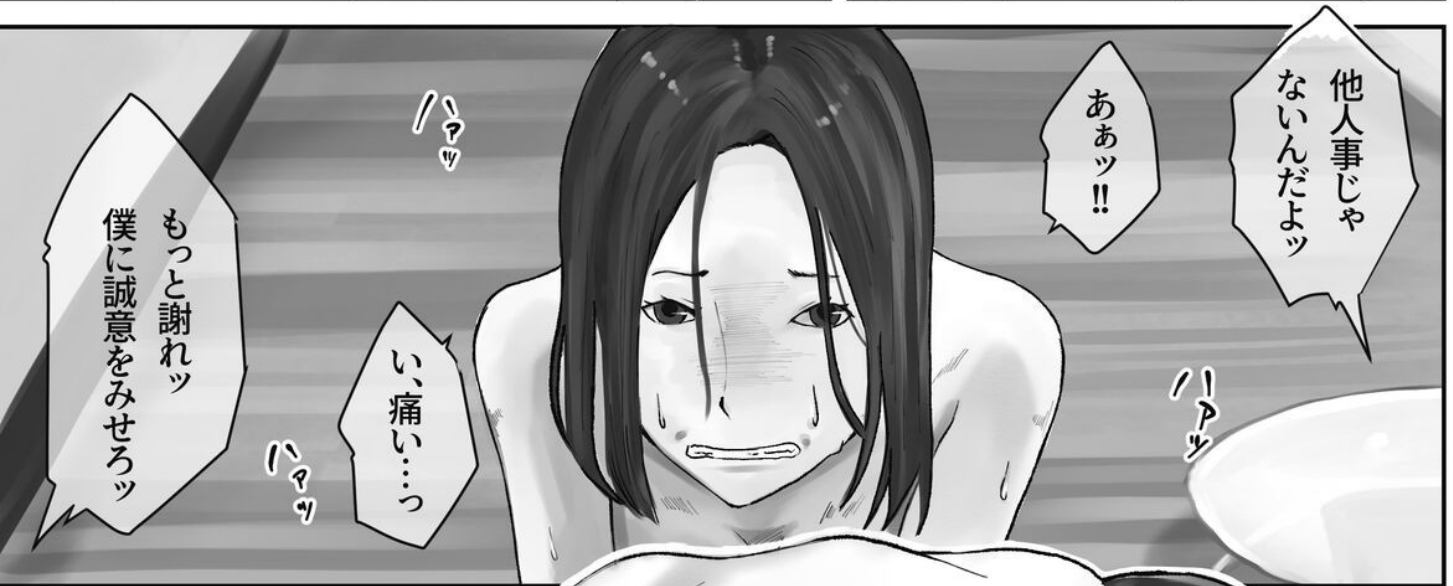
おぼさんの
子供の話だよ…ッ



分かって
るの!?

ビキ

ビキ

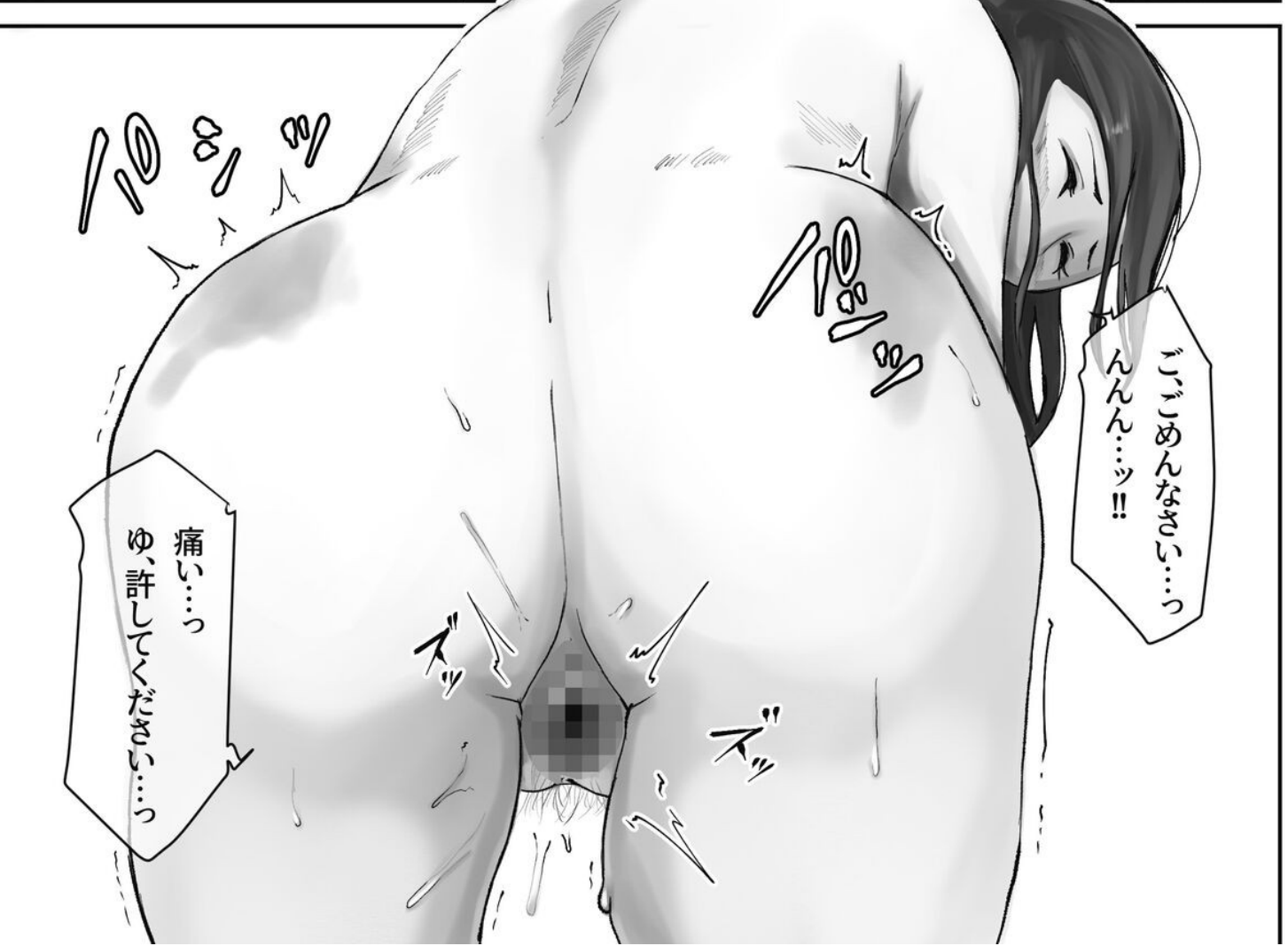


他人事じゃ
ないんだよッ

ああッ!!

い痛ご…ッ

もっと謝れッ
僕に誠意をみせろッ



いっめんなるご…ッ
んんん…ッ!!

痛ご…ッ
ゆ、許してくださいご…ッ

そんなんじゃないダメだ...っ
もっと膣に力入れろっ

汁穴萎ませろッ

ふん...っ

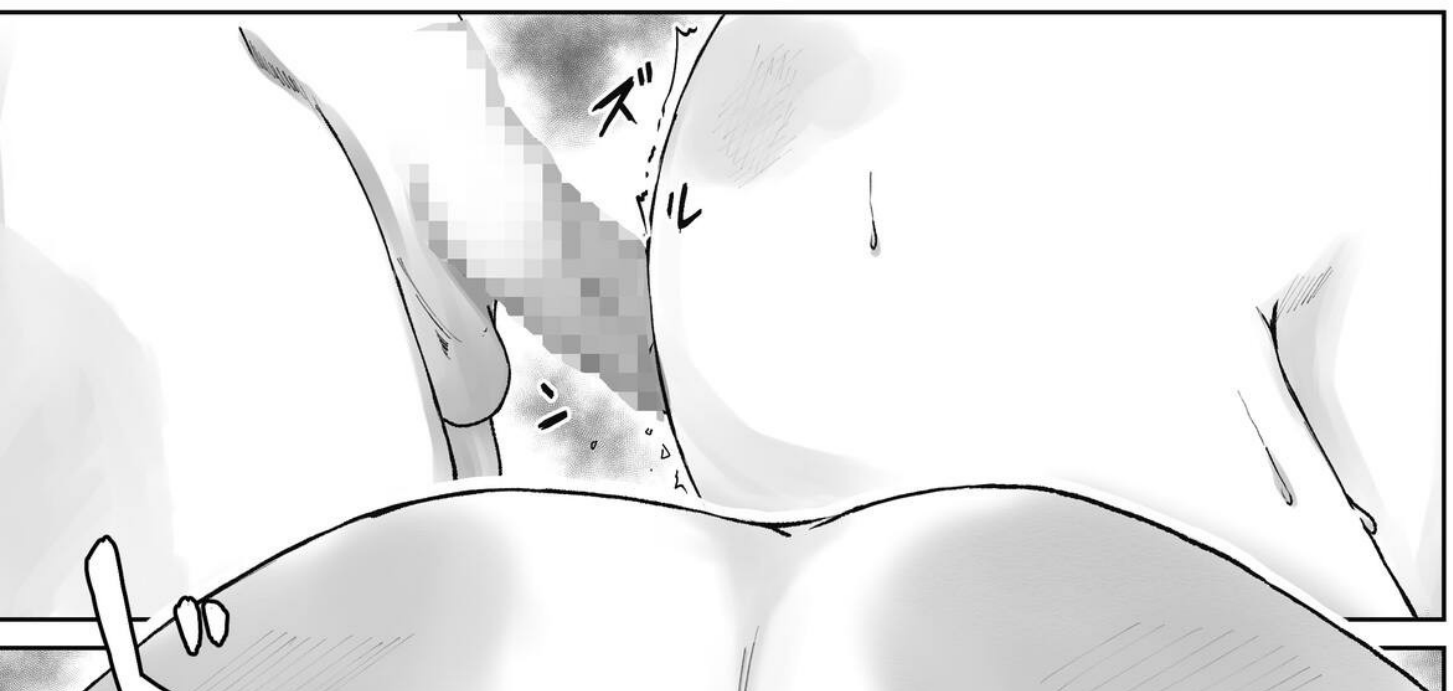
そのままじっと
してろッ!!

謝れっ!!

謝れっ!!

ごめんなさいっ!!







じゃあ、掃除、
おねがいね。

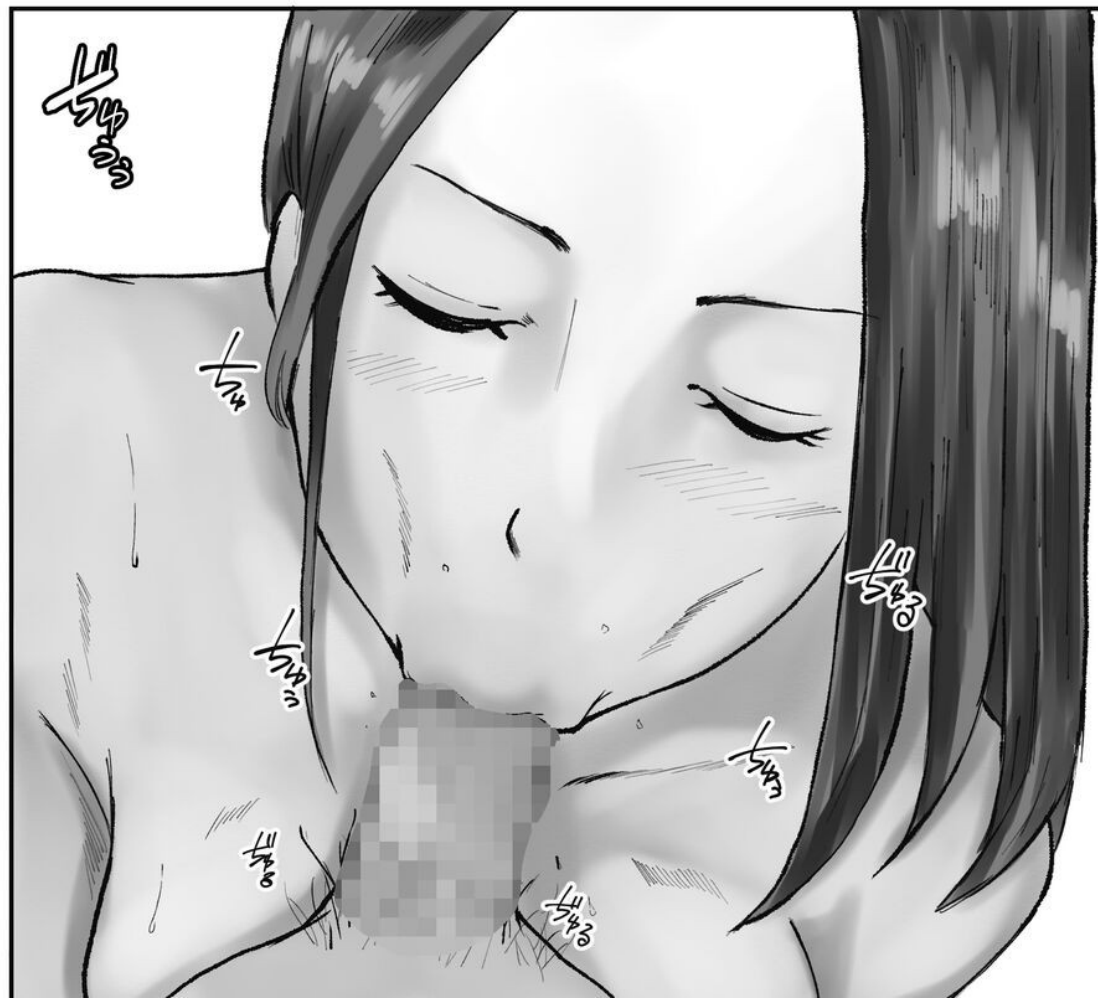


ふう……。
今日もいっぱい
出たね。



尿道に残ってる精子も
全部吸い出して。

おばさんはこんなに
優しいのよね。
困った息子だね。



あの日は、あのとき、あの場所で、
あの母親を犯すことになった。



改めて、あの子とキチンと謝罪に伺います。



本当にごめんなさい…。

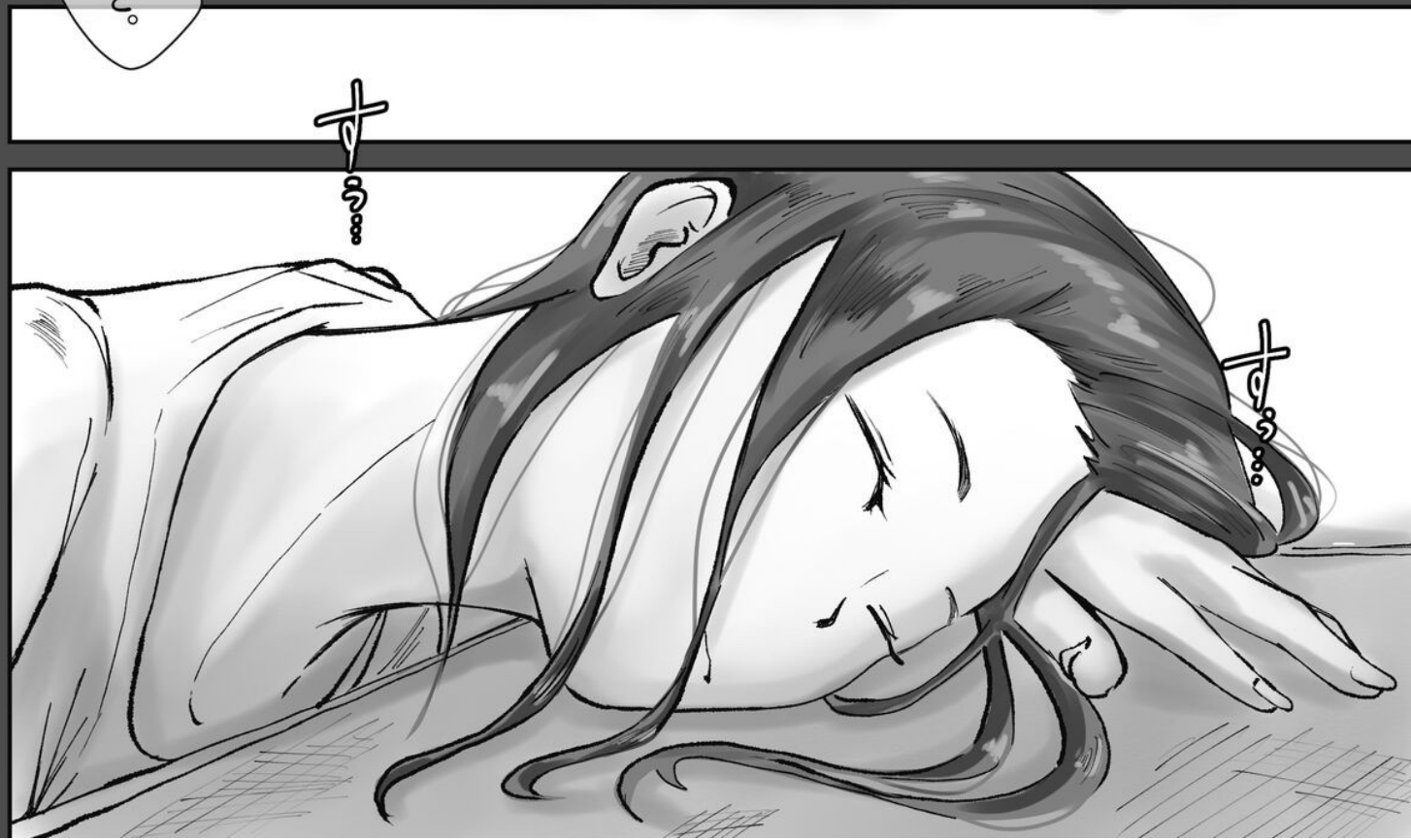
おぼろん…。

ほんとそんなつもりで来たんじゃないんで…。



おばさんも飲んで落ち着いてください…。

あ、ありがと。





んん...

秋一くんが悪い
んだからね...

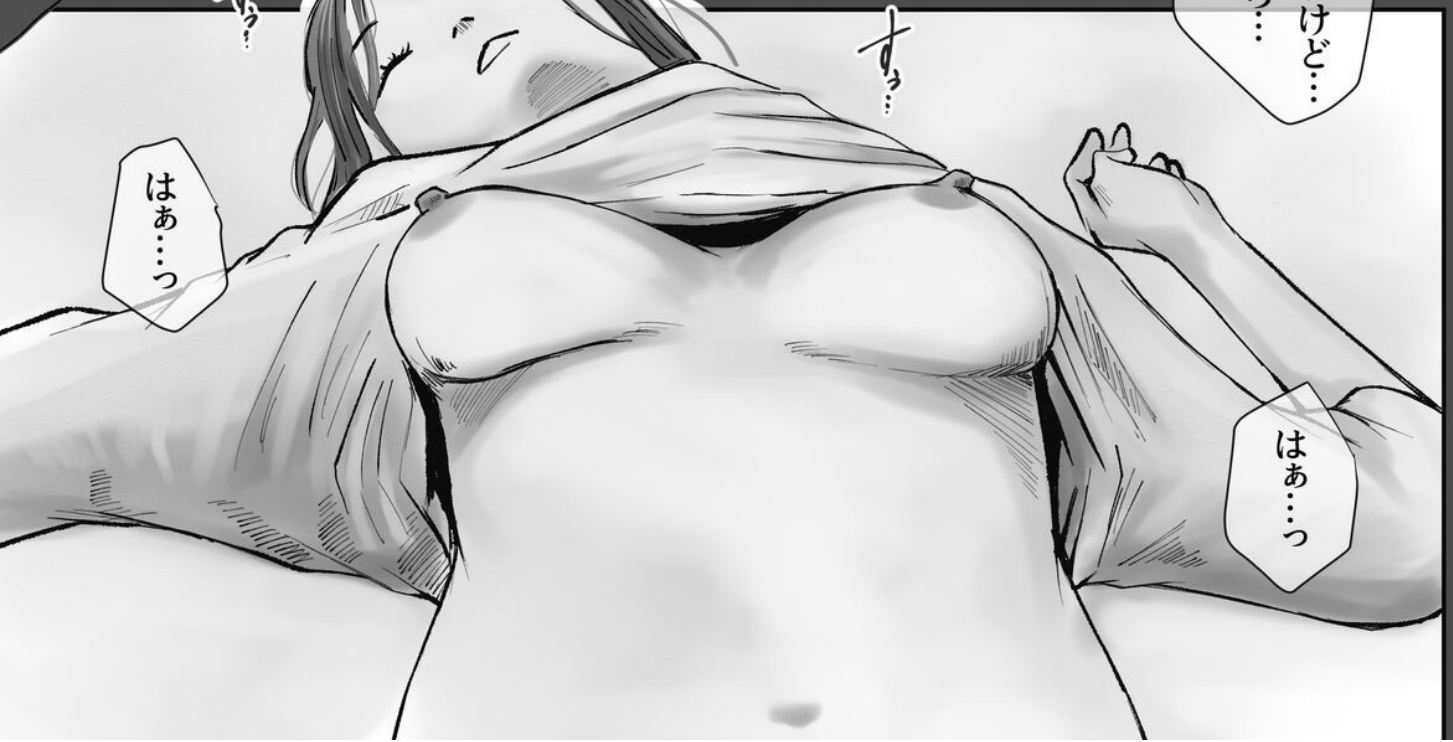
秋一くんが、僕をイジメ
なければこんな事にな
らなかつたんだ...



眠ってる間に
終わりますから...

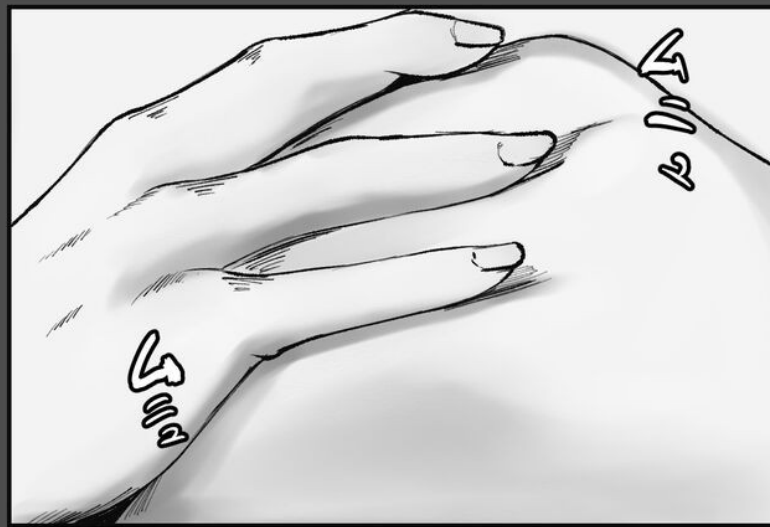
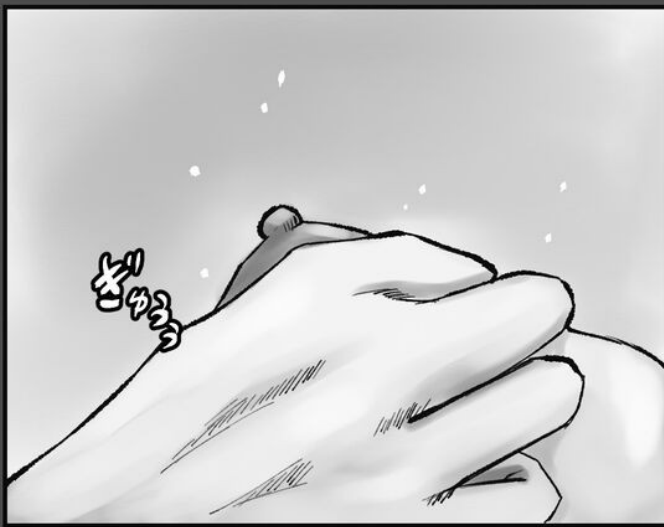


おばさんには悪いけど...
結構強い薬だから...



はあ...っ

はあ...っ





女のカラダ…

ひんやり

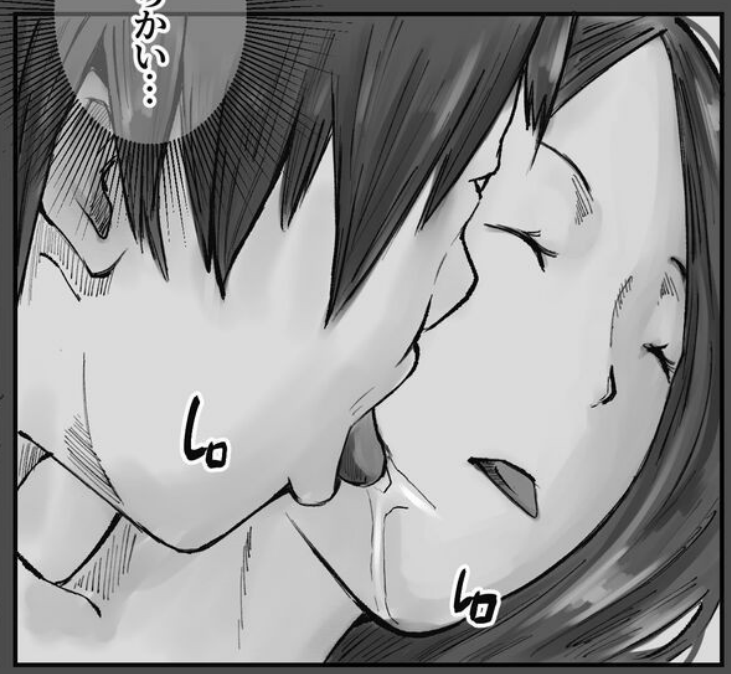
ひんやり

冷たくて気持ちいい…

柔らかい…

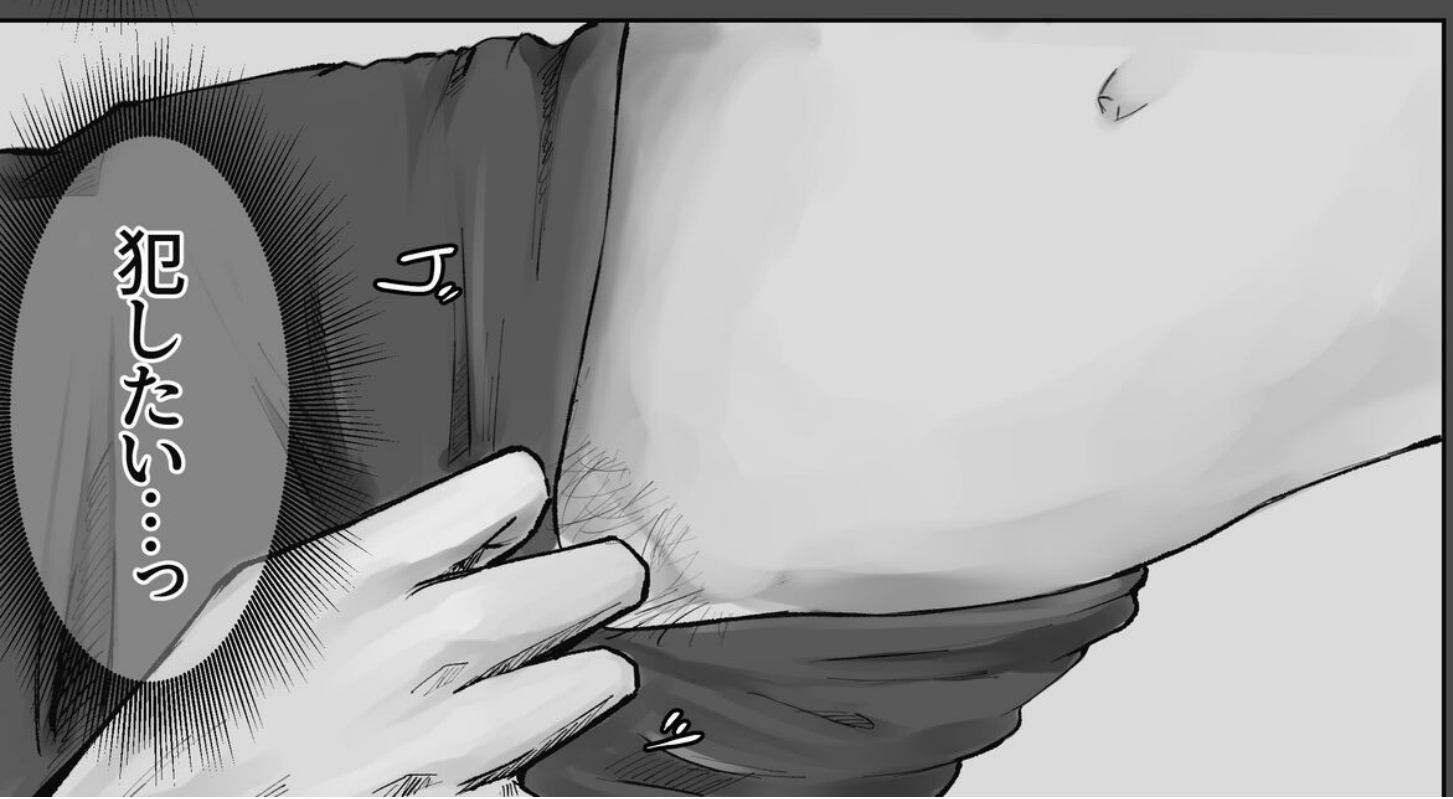


柔らかい…



ほ

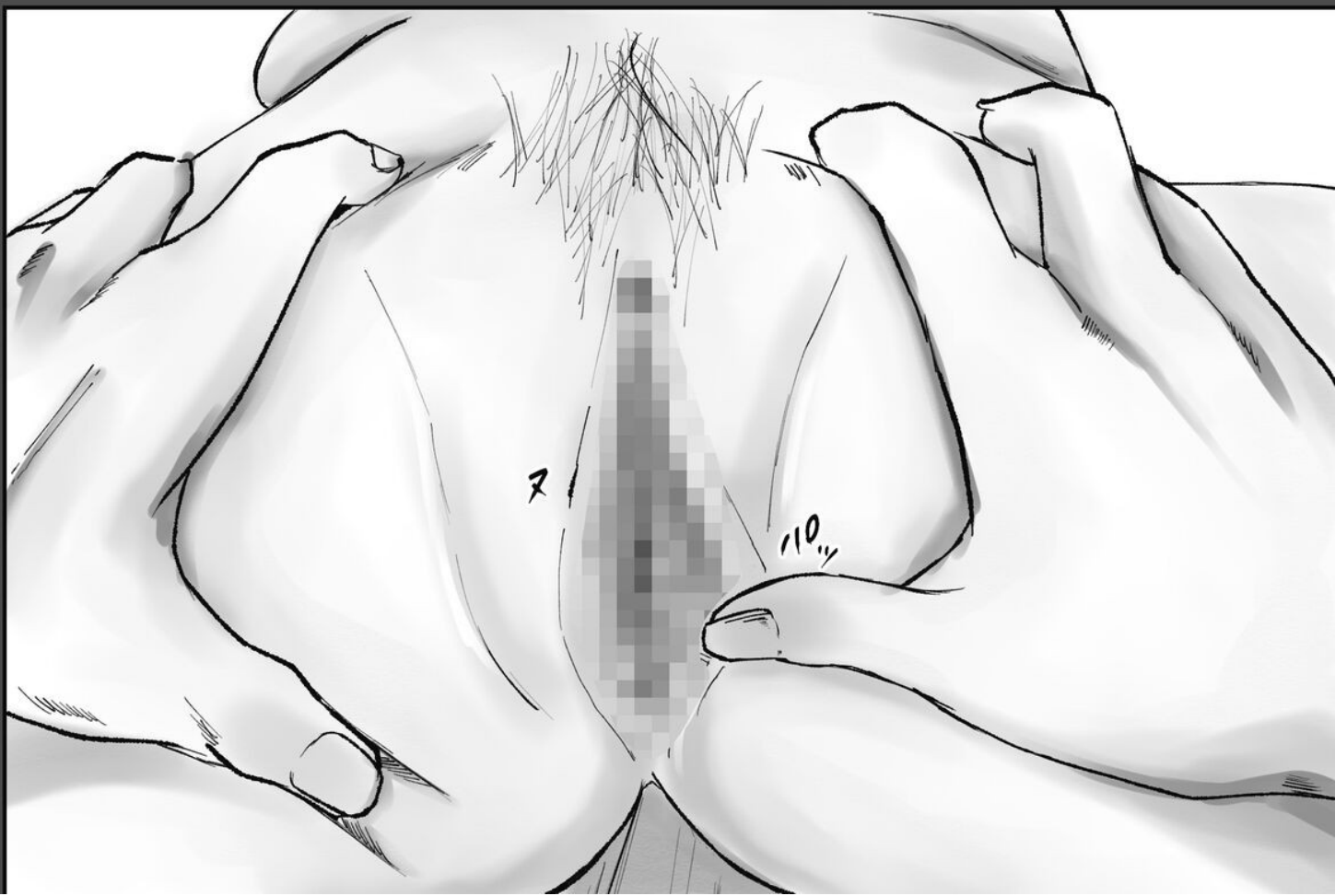
ほ

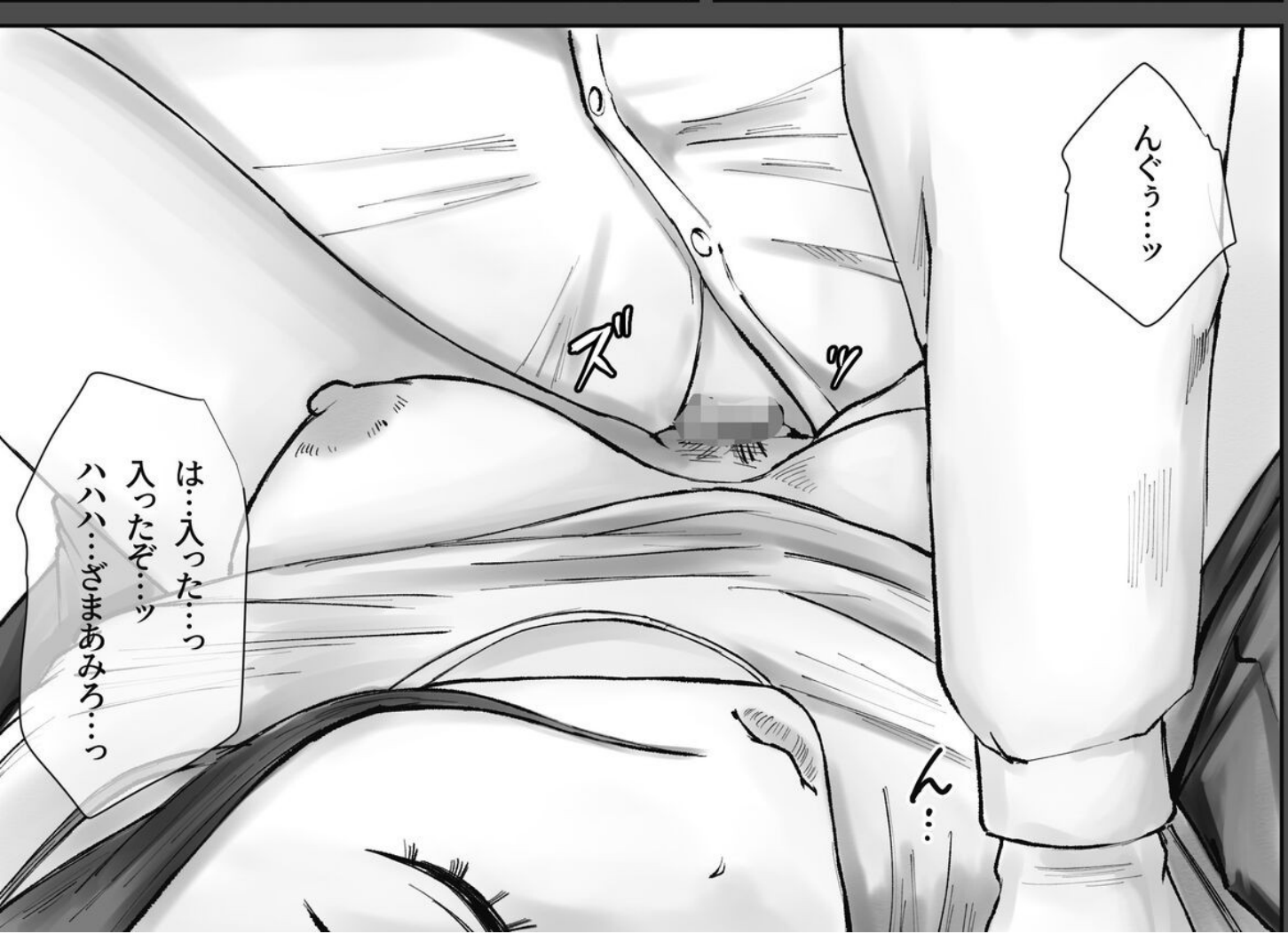


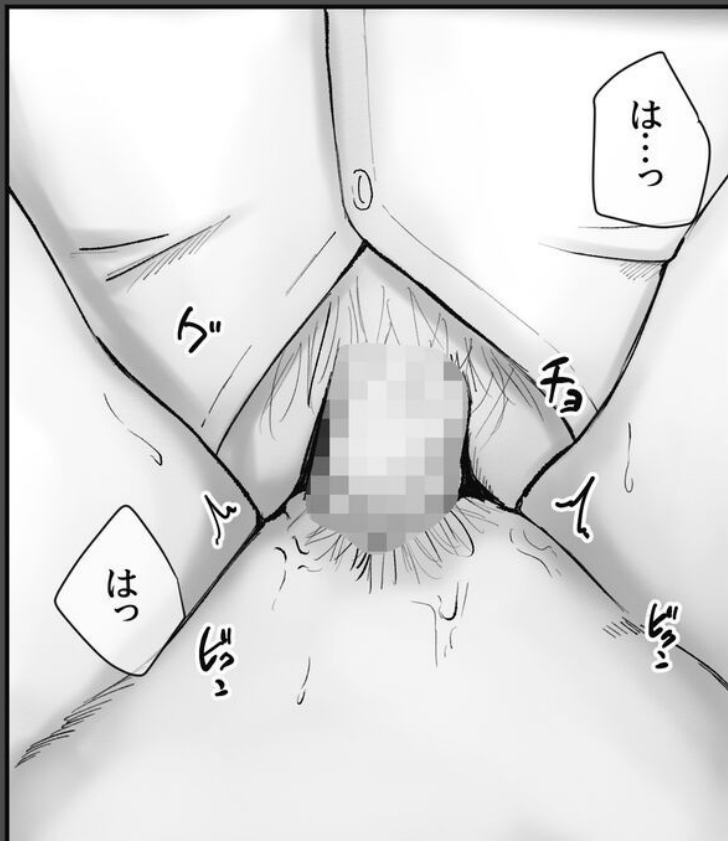
犯したい…っ

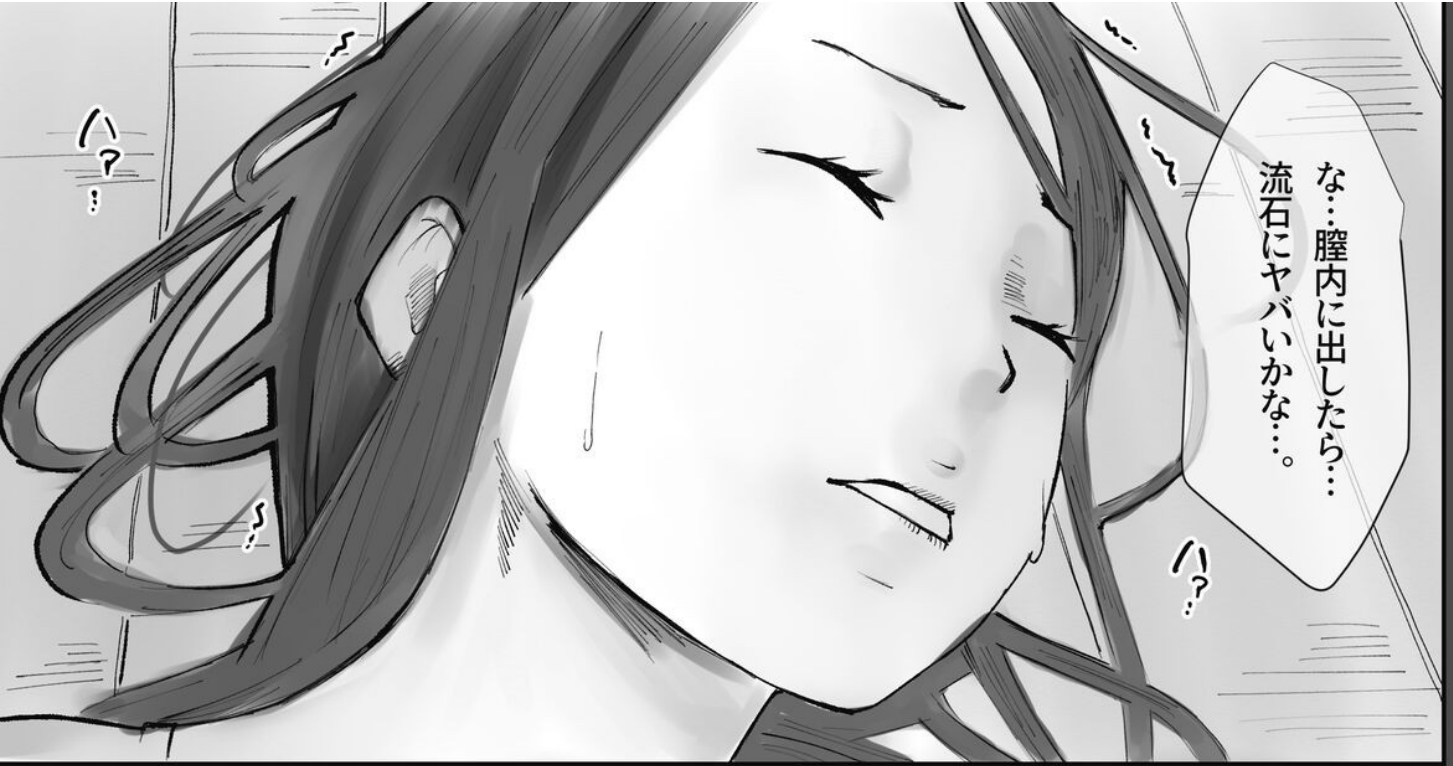
ジ

ほ

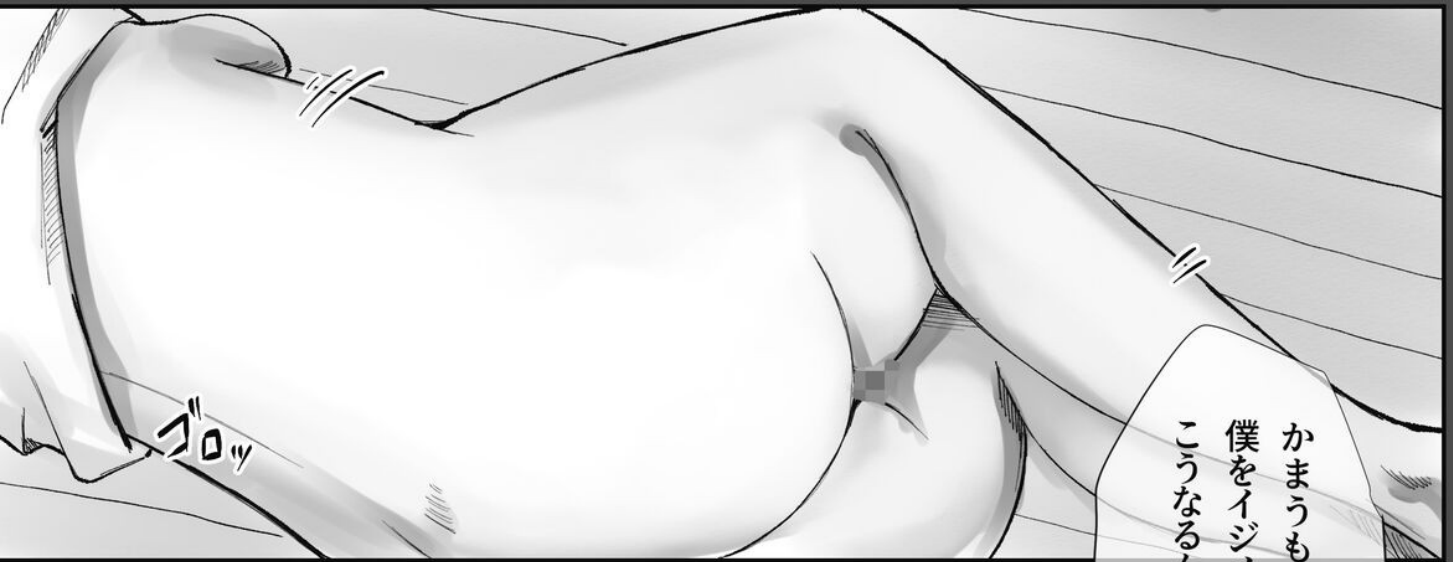








な…膣内に出したら…
流石にヤバいかな…

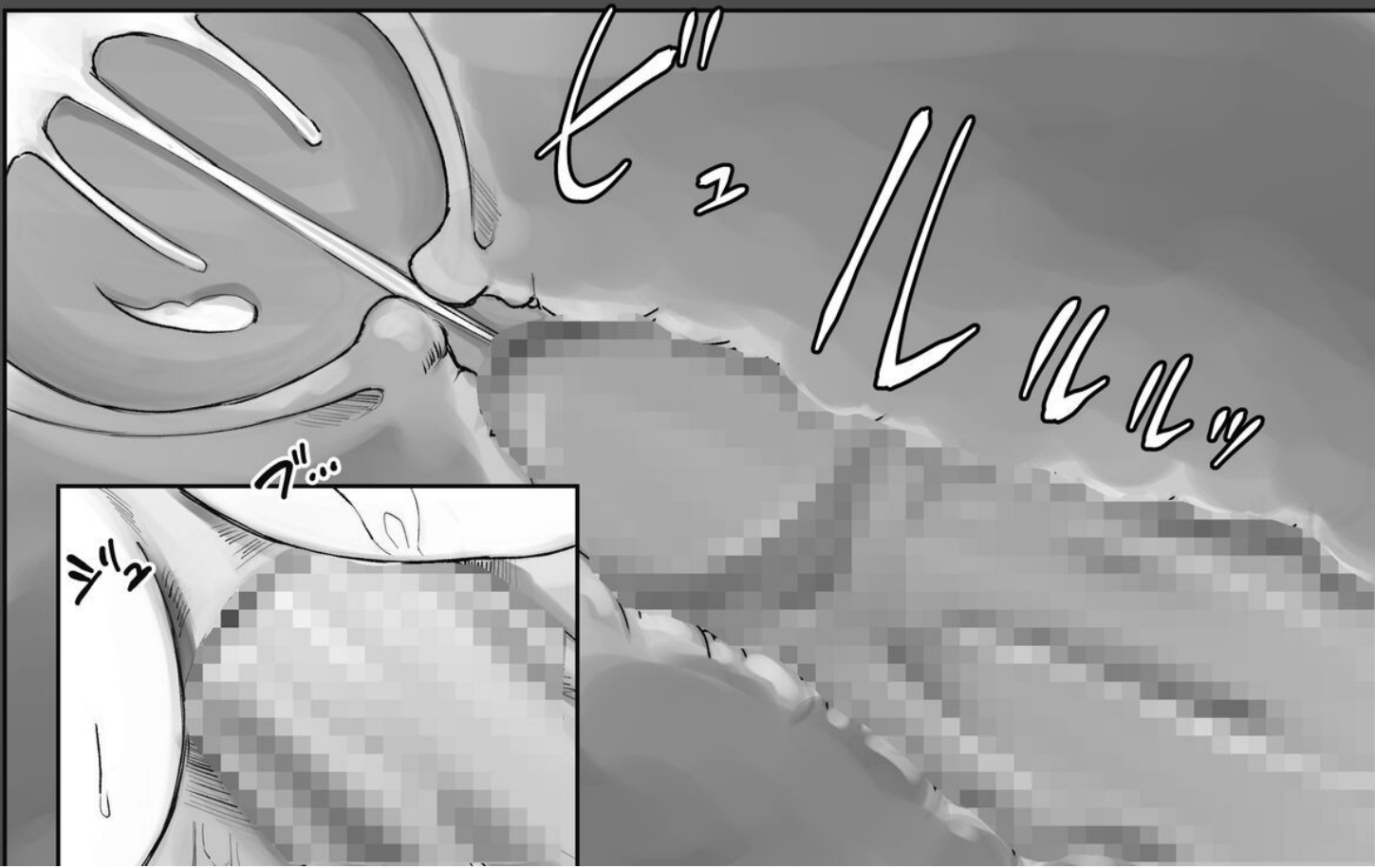


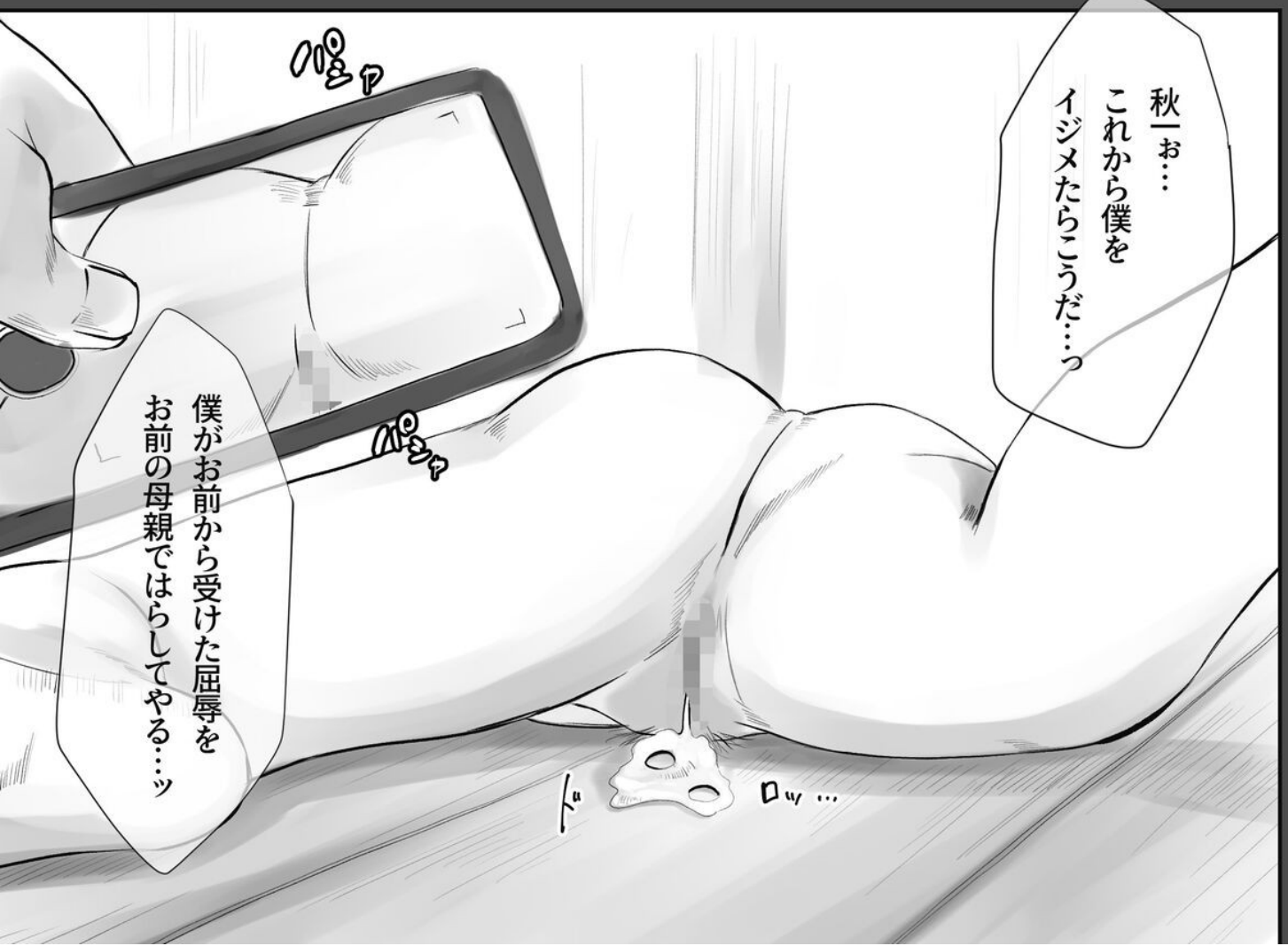
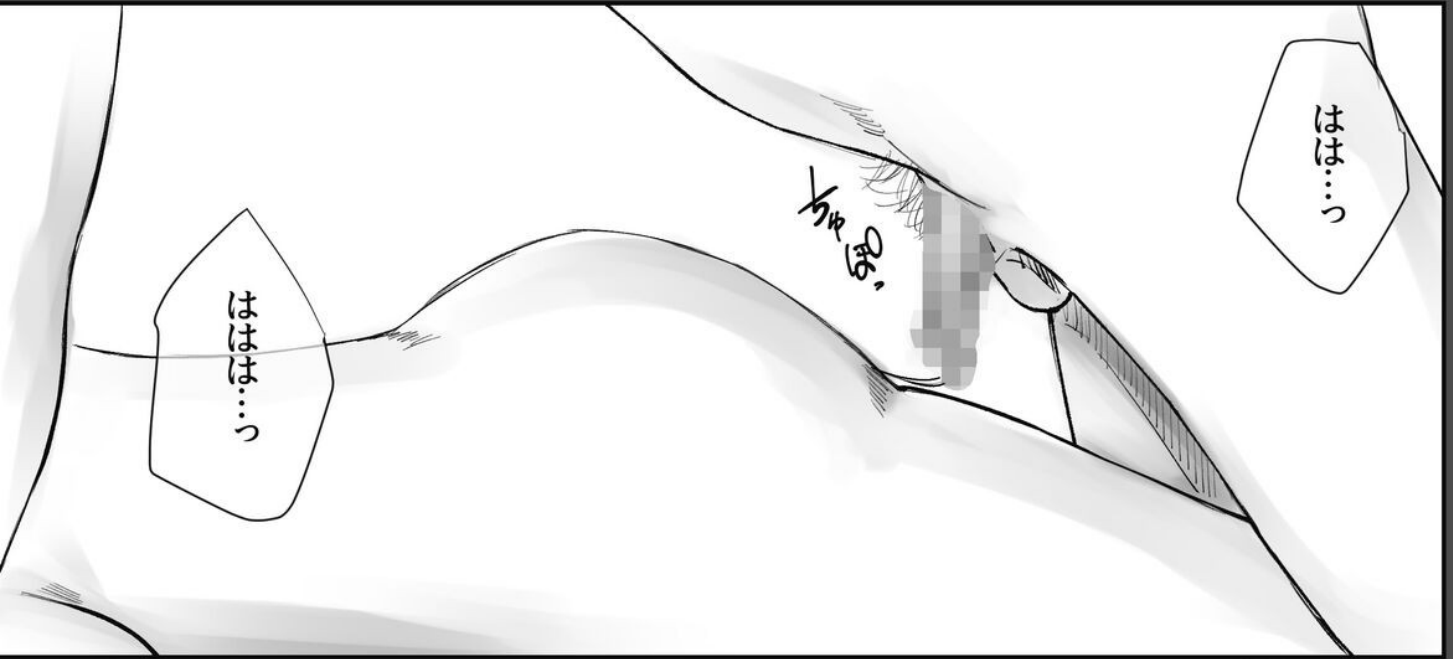
かまうもんか…
僕をイジめるから
こうなるんだ…っ



自業自得だ…ッ









秋一が知ったら
どんな顔するかな...



それから秋一にイジメられる度におばさんを犯している。

今日も中々気持ち良かったな。

最近では、おばさんも諦めたのか抵抗しなくなってきた。



なんで、お前がこんなところにいるんだ？

あ？



あ…秋…？
また秋…が…？

トントン



ま…正義くんっ

どうしたのっ!!
その怪我っ!!

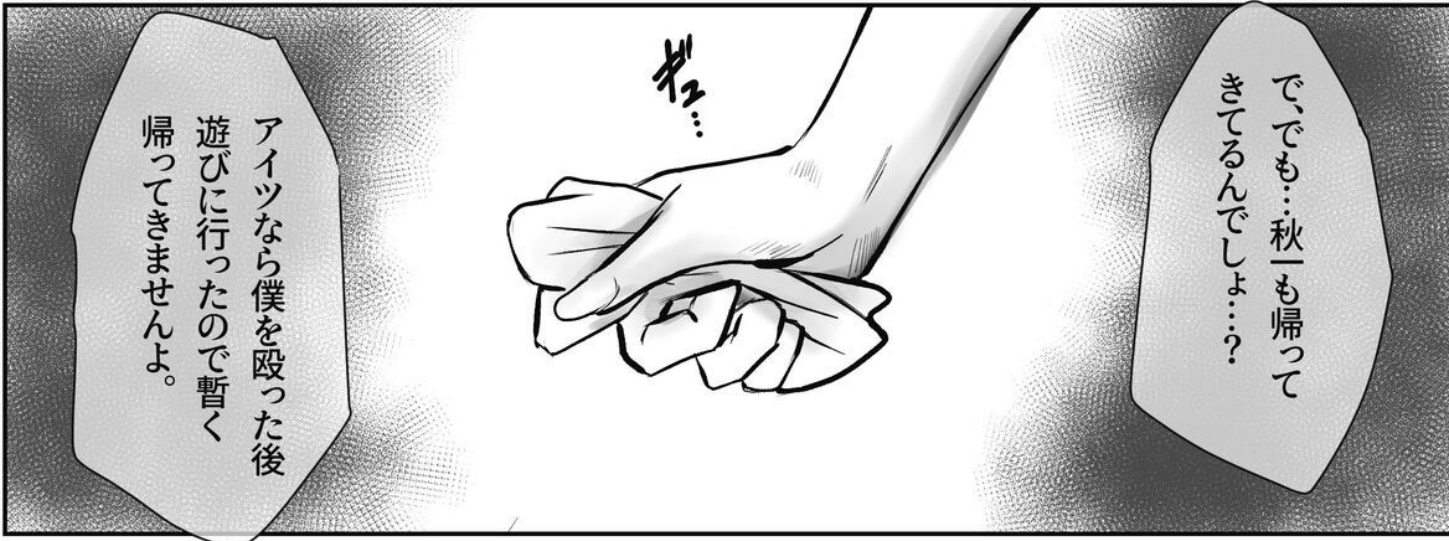
ホ

ロッ



おぼろん。
そういうのいいんだ。

早くしゃべって
ください。



でも…秋一も帰って
きているんでしょ…？

オッ

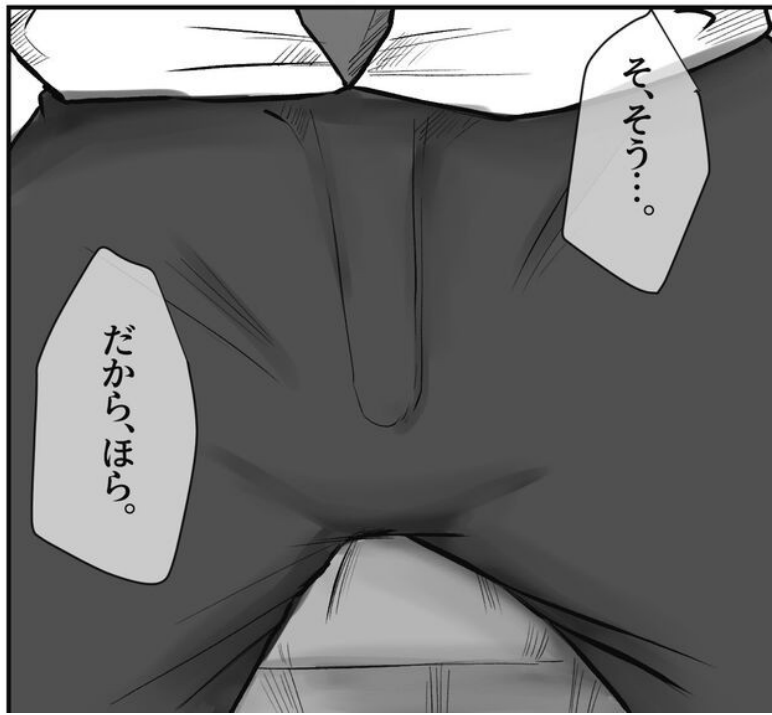
アイツなら僕を殴った後
遊びに行ったので暫く
帰ってきませんよ。



は…は…。

分かりました…。

フ



そ、そう…。

だから、ほら。





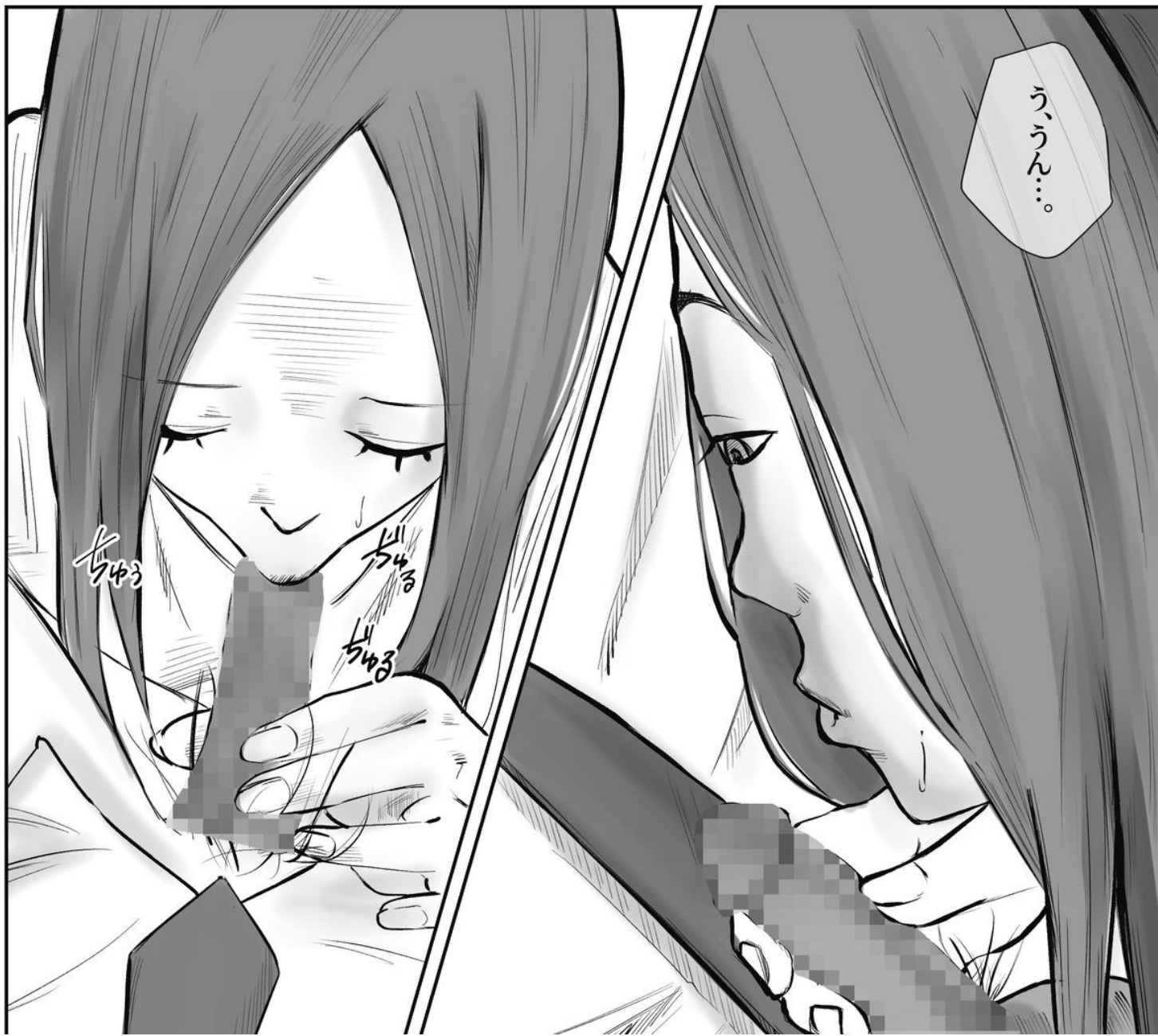
さっき出したばかりだから…

た、勃たないみたい…ね。



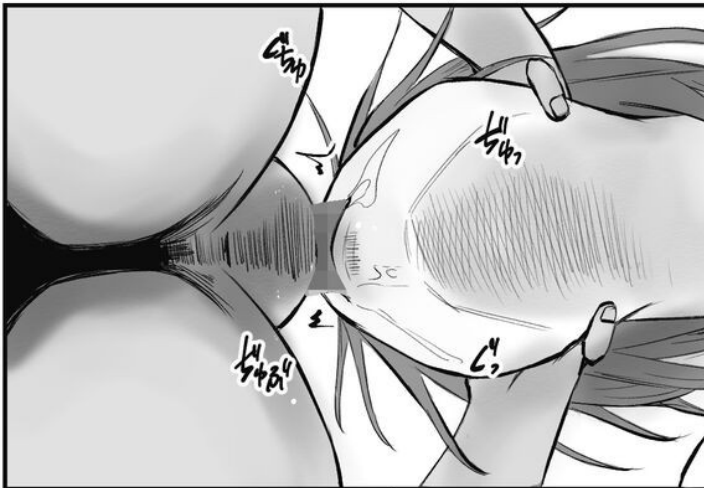
じゃあ一生懸命…

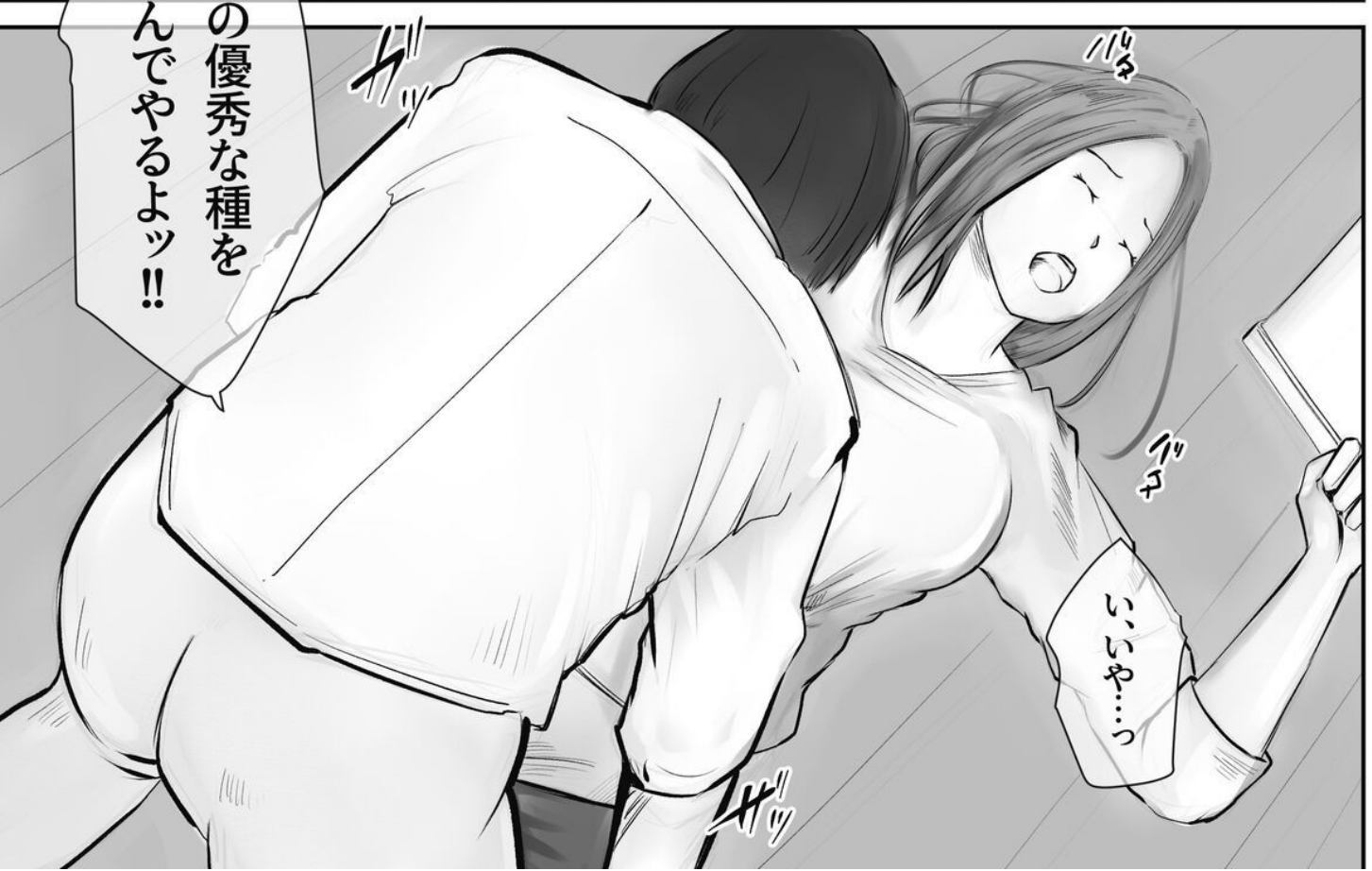
勃起させてください。



う、うん…。









黙って僕の
言うとおりにしろよッ!!
ハメ撮りだつてあるんだぞ!!

お前のバカ息子の
せいだぞ!!

嫌じゃねえんだよッ!!
僕の顔を見ろよッ



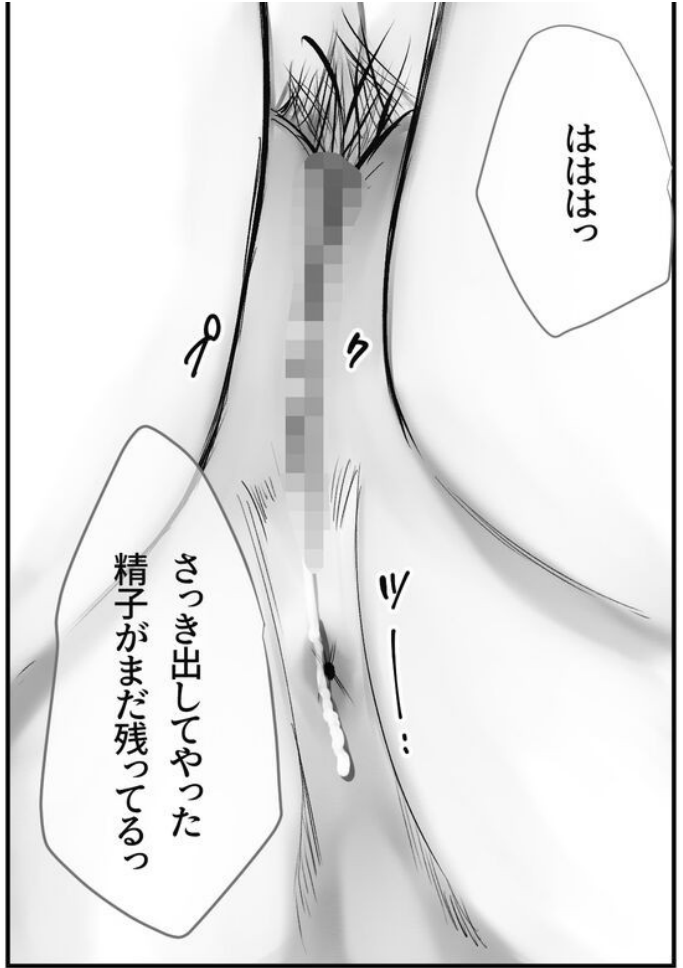
見ないで...

うう...っ



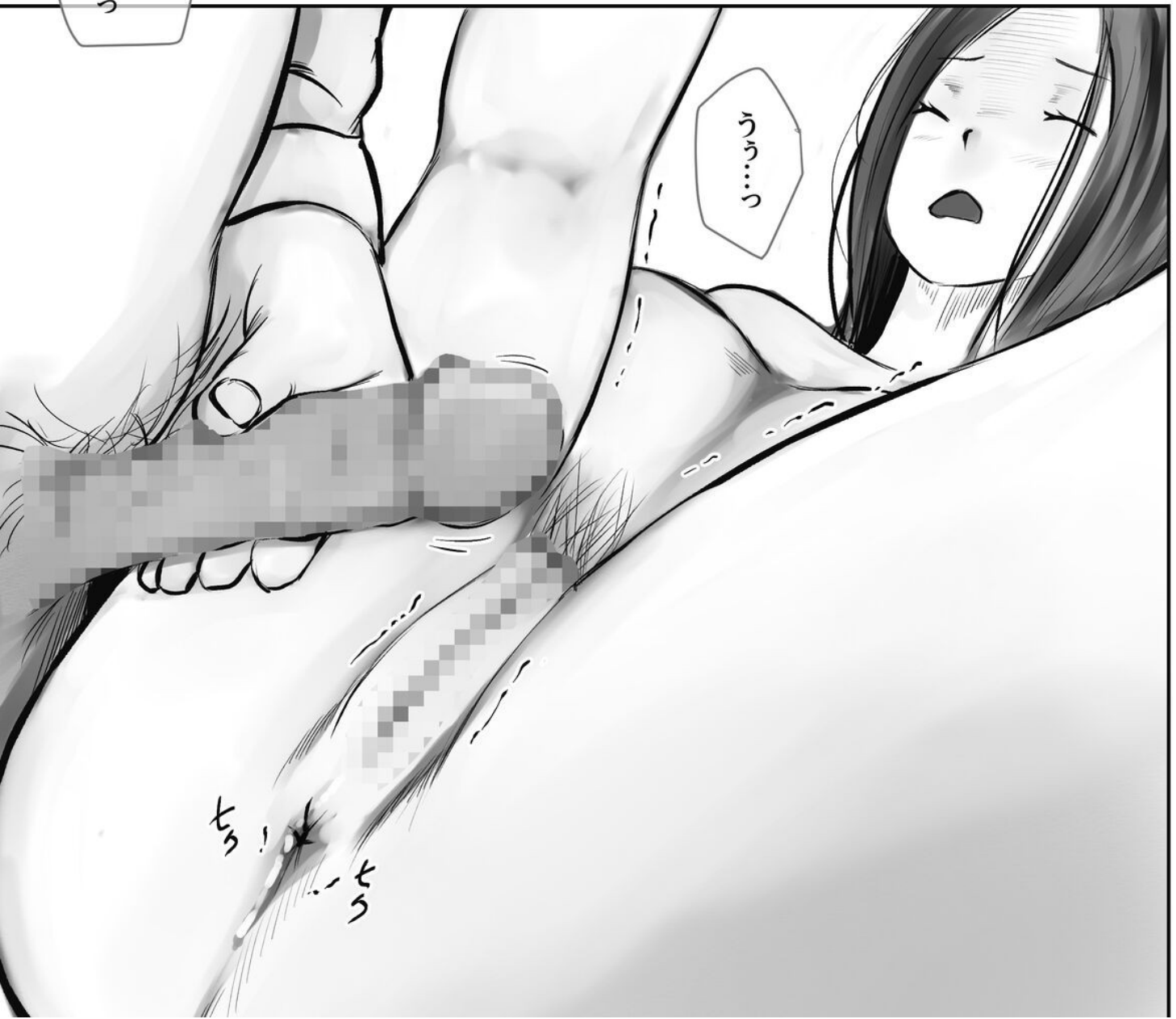
この上から
また中出して

確実に
孕ませてやる……っ



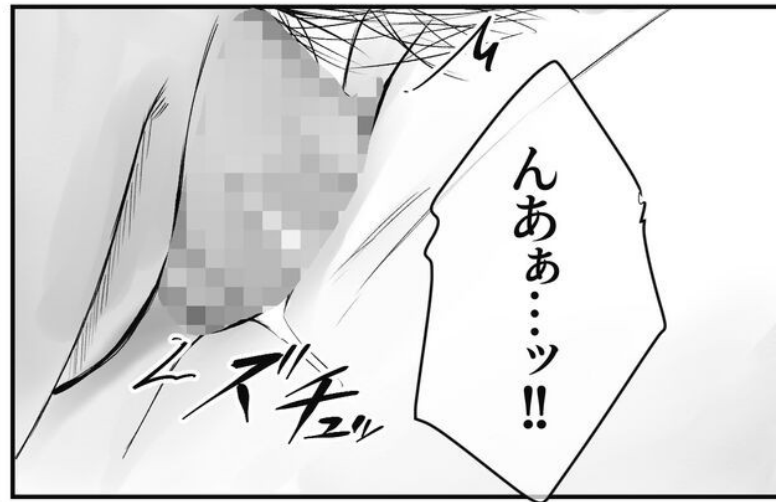
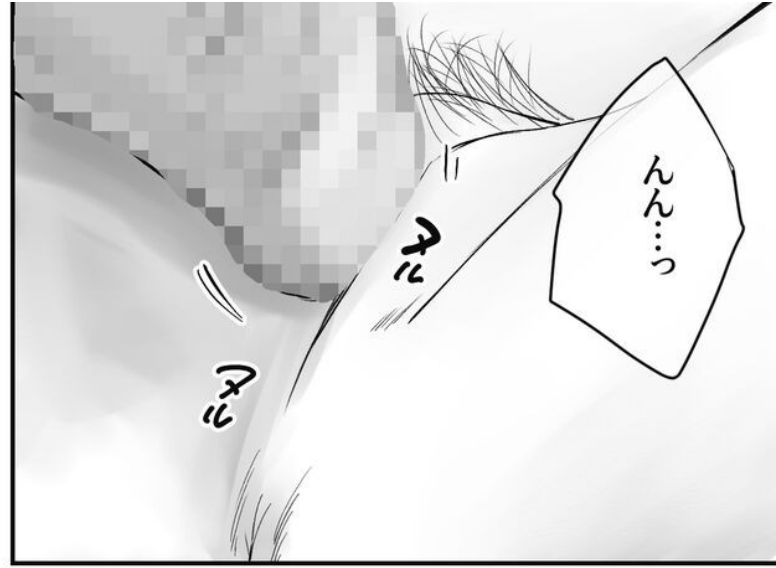
はははっ

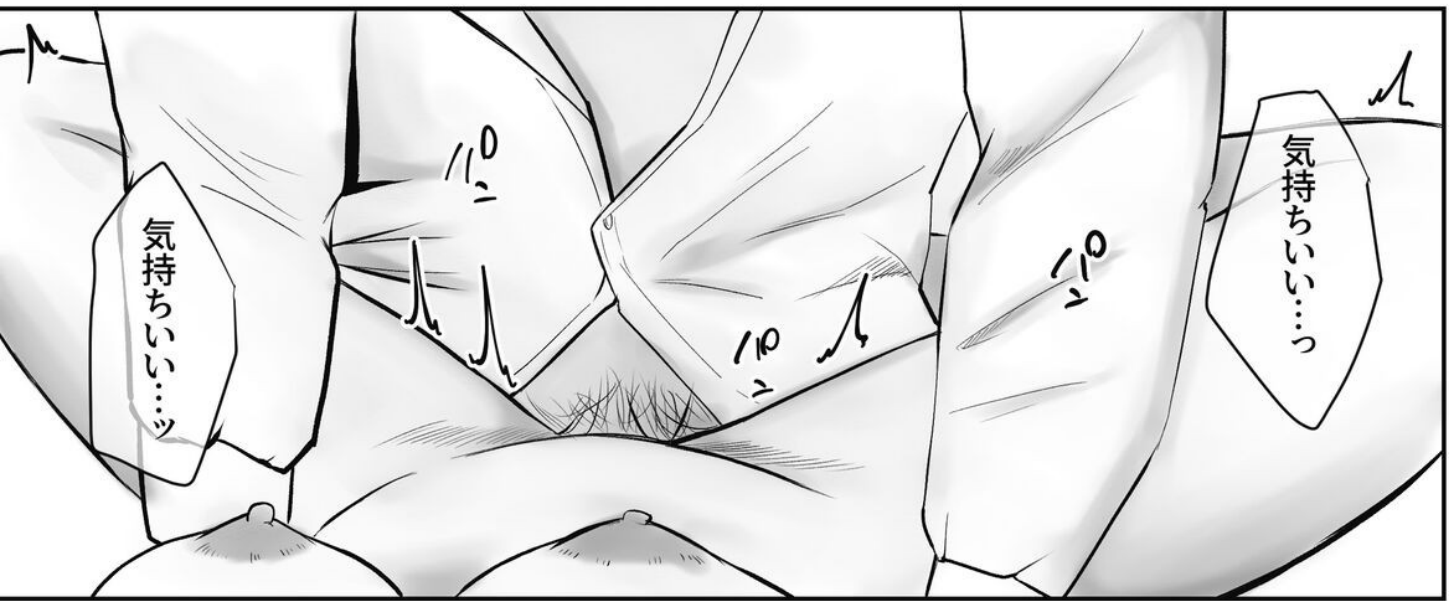
さっき出してやった
精子がまだ残ってるっ

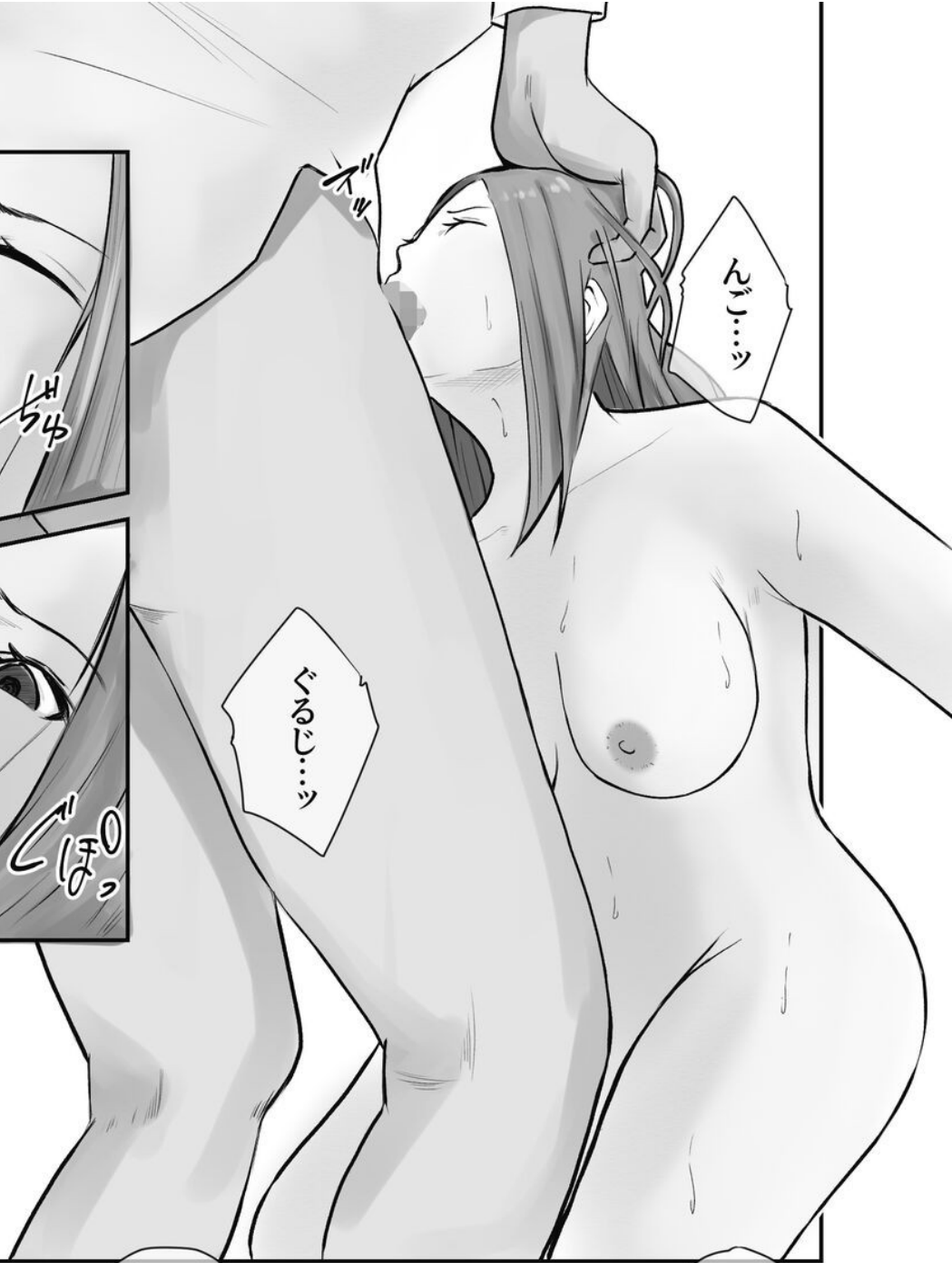


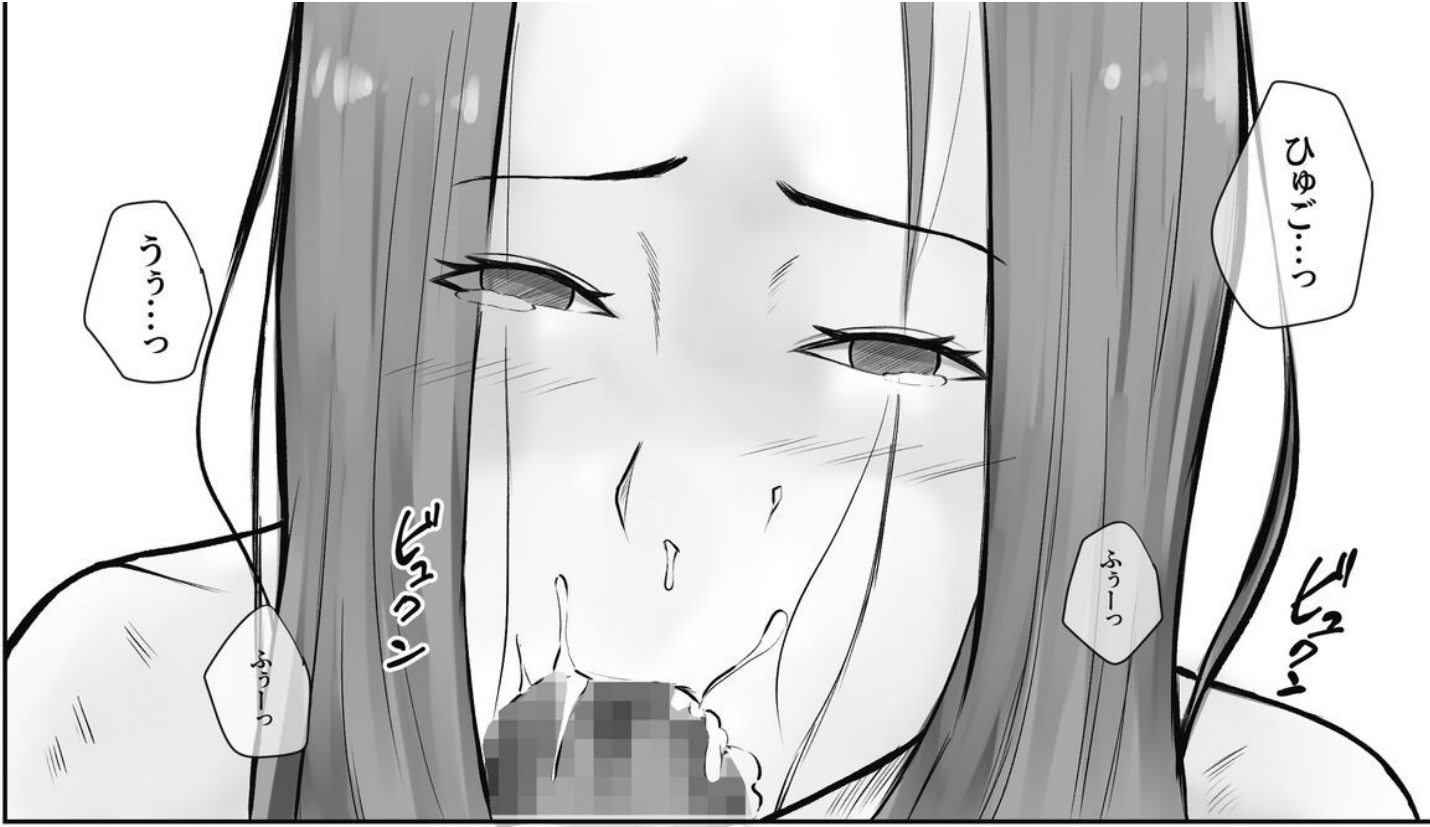
うう……っ

ん！
……っ
とう











壊れちやうつうツ!!



もう...
ゆるしてえ...

ほんとに...



はぁあッ

はぁあッ

れろ

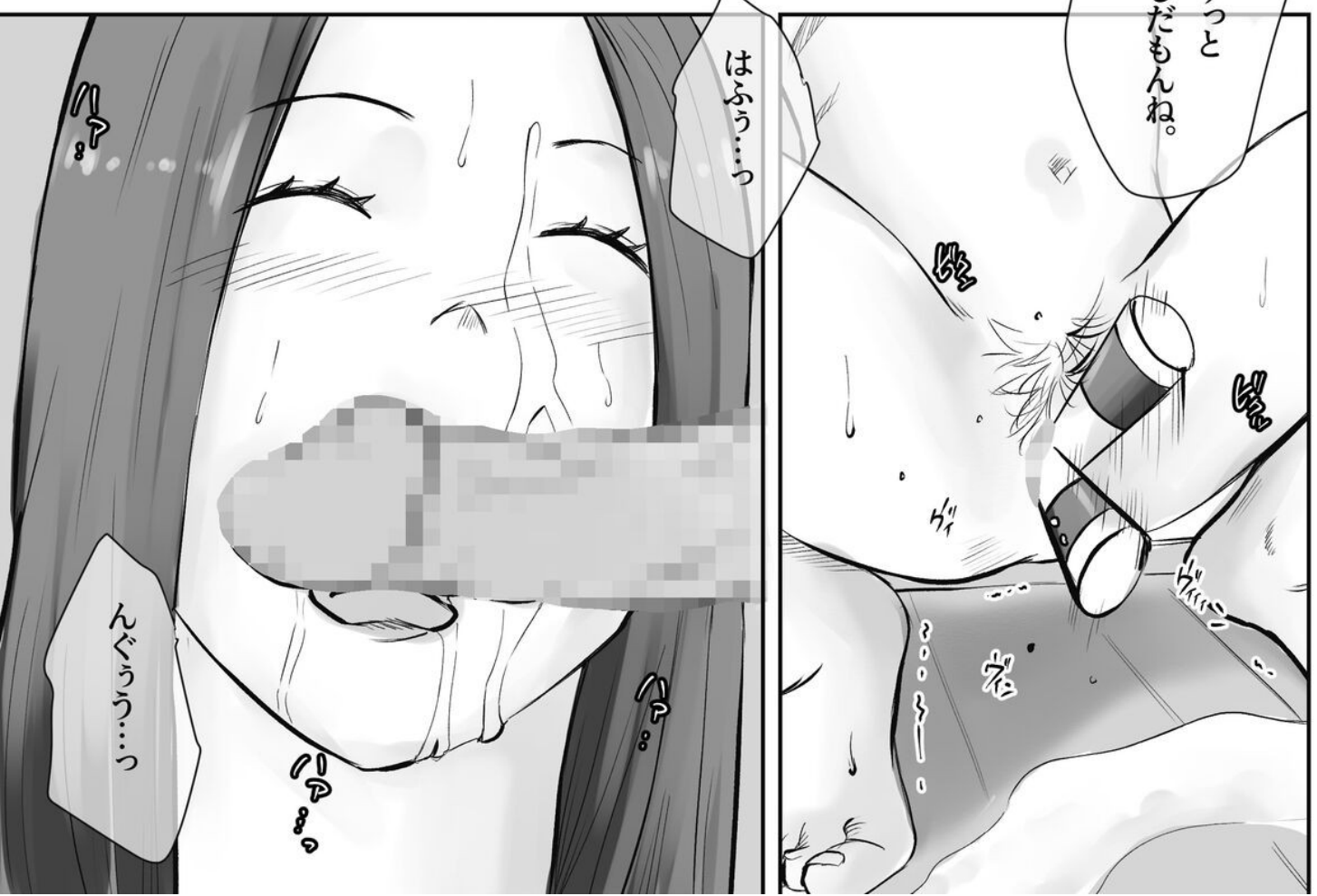
はぁあ

はぁあ



こっちが勃ったら
また挿れてやる。

それともその玩具が
気に入ったかな?



はぁ...う...

んぐうう...う

さっきからずっと
イキっぱなしだもんね。

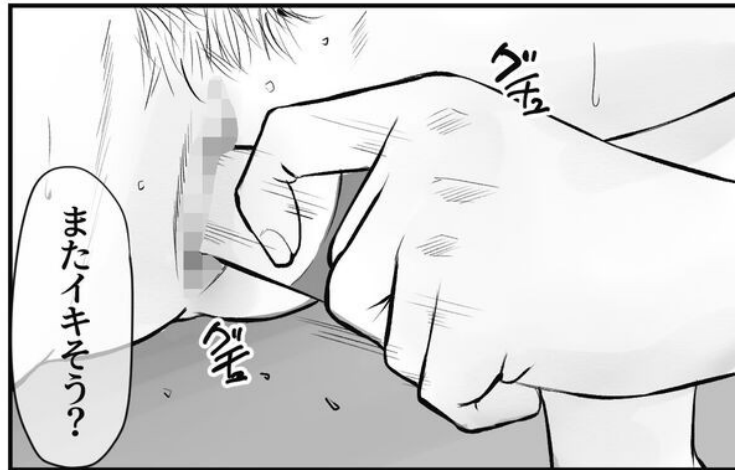


イク…
イッちゃう…ッ

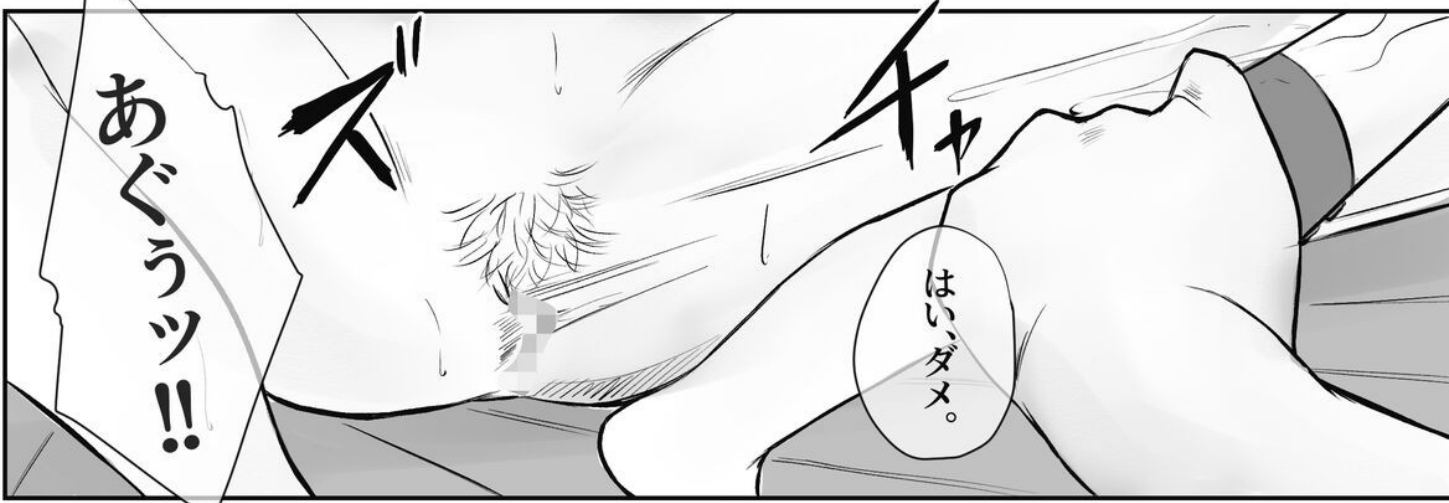
いやあッ!!



ほら。
気持ちいい？



またイキそう？



あぐろうツ!!

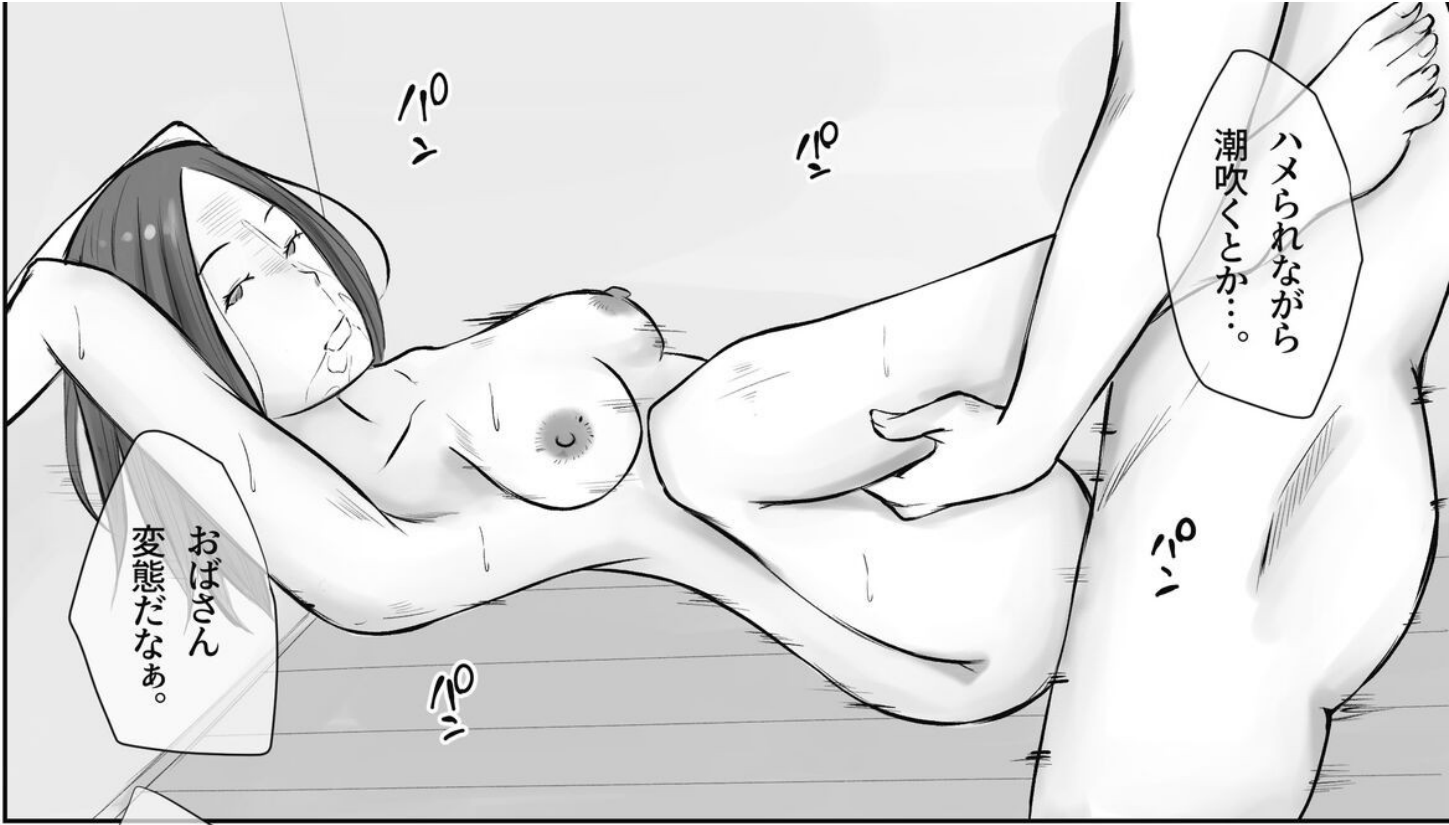
はい、ダメ。



本物の方が
嬉しいですよ…っ

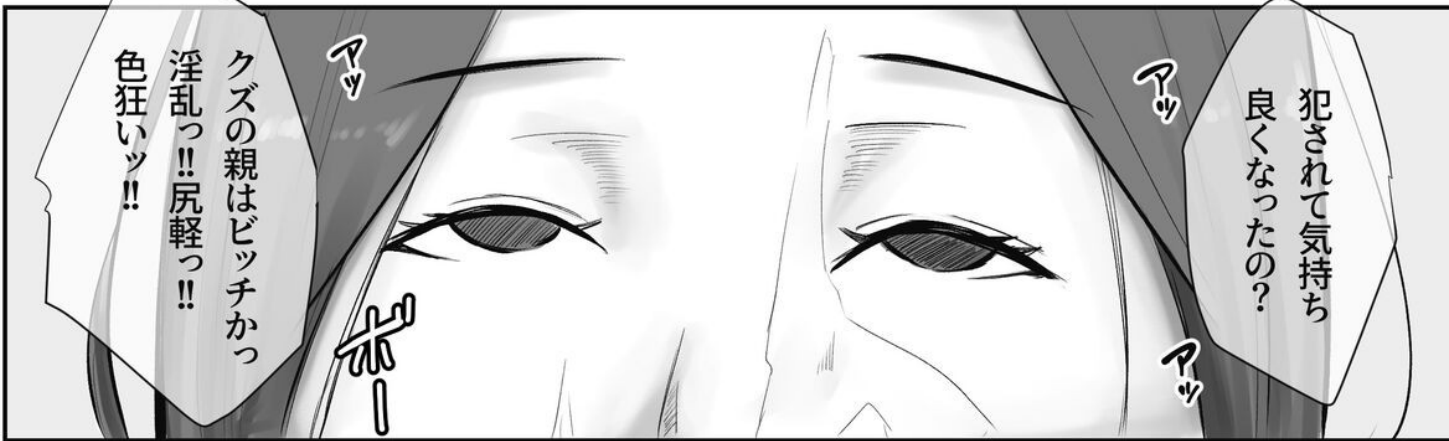
こっちでイかせて
あげるよ…っ

グッ



ハメられながら
潮吹くとか…。

おばさん
変態だなあ。



犯されて気持ち
良くなったの？

クズの親はビッチかつ
淫乱っ!! 尻軽っ!!
色狂いっ!!



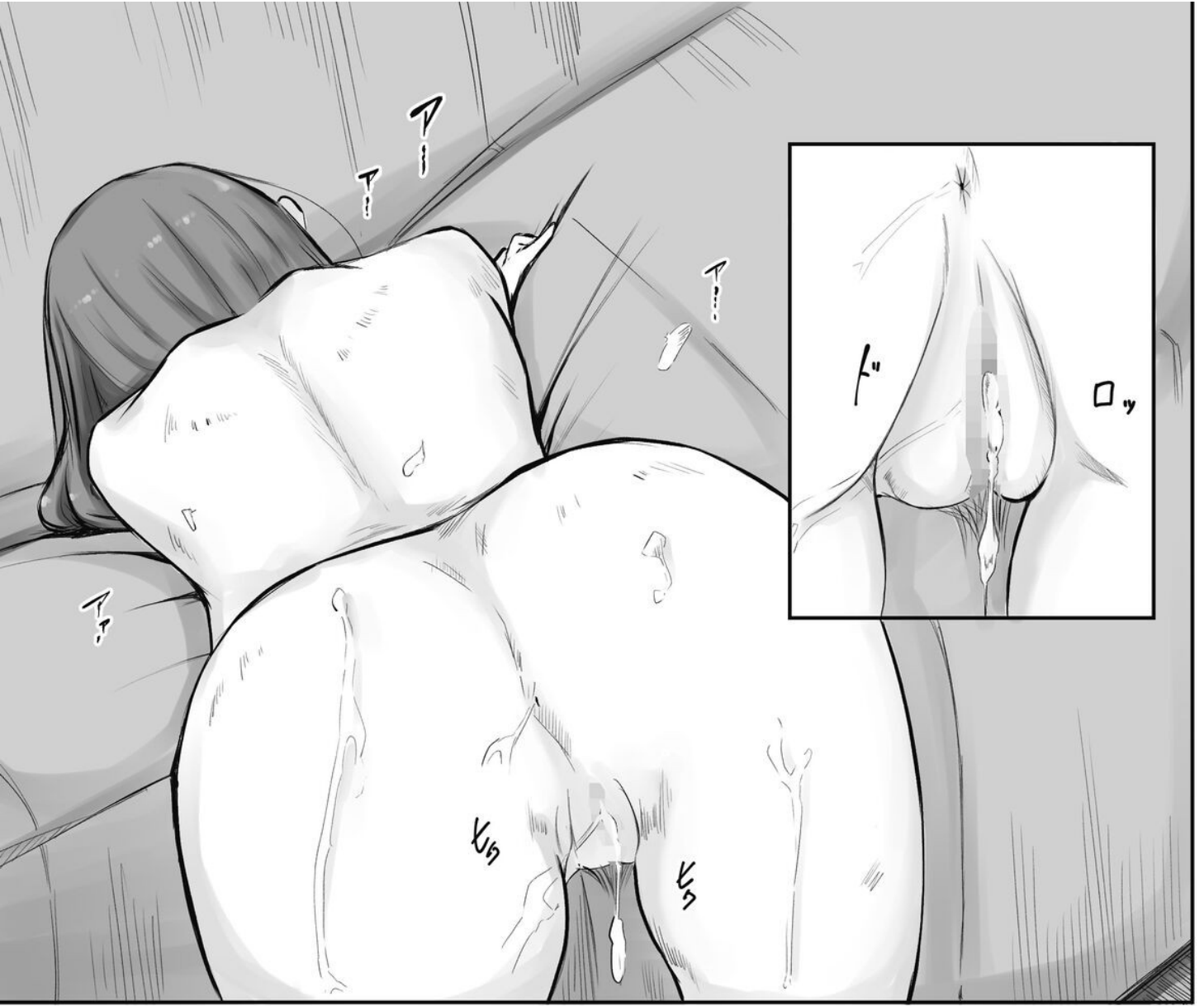
まだまだ犯し
続けてやる…っ

ごまあみろ…。
秋お…。



へ…っ
反応なしかよ。

でもまだだ…



次の日から不思議と秋二からの
イジメがなくなった。

自宅付近をららららてらた僕で
警戒したのか…。あれから母親の
ぶつ壊れた姿でも目撃したのか…。

どっちでもせよ僕の地獄の
日々はいまだ終わらなかった。



お、おばさん…？

どうしたんですか？
こんなところまで…。



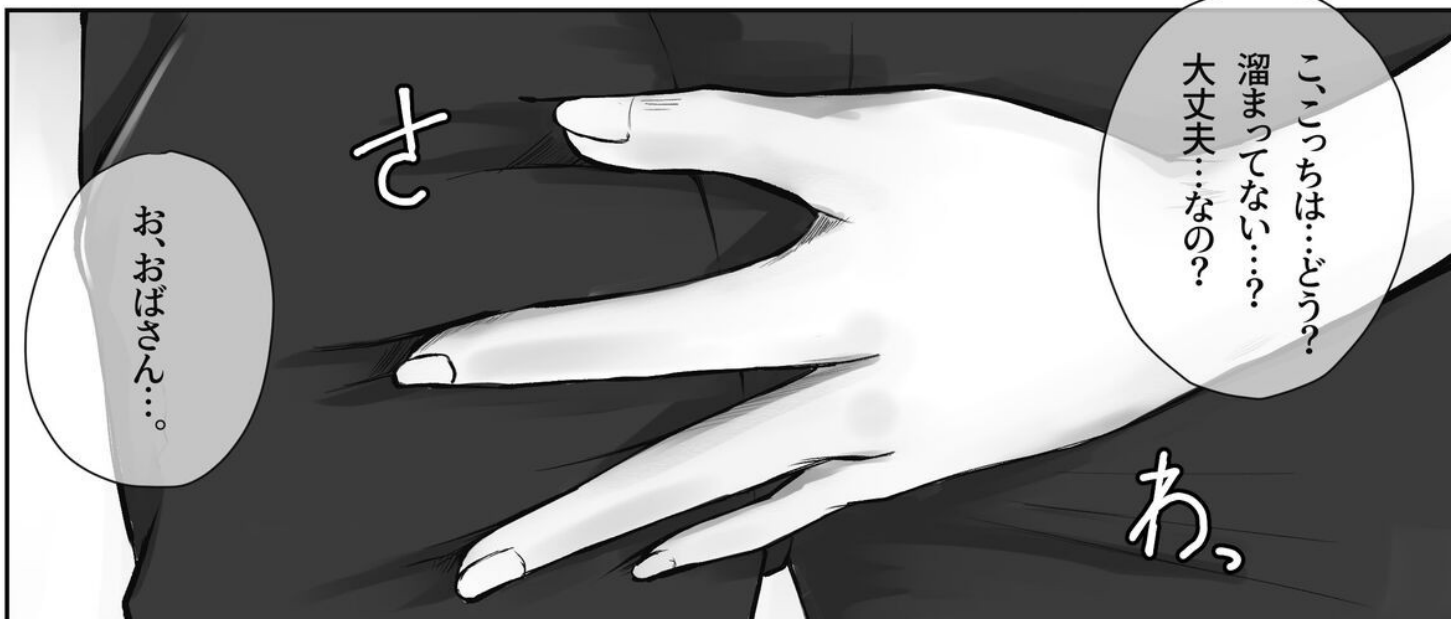
ま…

正義くん…っ



最近…
来てくれないから…

どうしたのかな…って
もうイジメられてないの？



ここっちは…どう？
溜まってない…？
大丈夫…なの？

あ、

お、おばさん…。



ハア

お願い…

ハア

ハア

もう一度…

ヒュー

キョ

ヒュー